



# RIKKYO SECOND STAGE

## Contents

- P1 眼前にひろがる楽しみの世界を共有したい  
 P2 入学式 P2～3 本科生の横顔  
 P4～5 本科ゼミナール紹介  
 P6～7 「学び直し」と「再チャレンジ」のみちすじ・専攻科生に聞きました  
 P8 RSSC生の異世代共学

立教セカンドステージ大学(RSSC)は、立教大学が提供する生涯学習の場です。RSSCは、RIKKYO SECOND STAGE COLLEGEの略称です。



発行：立教大学 「立教セカンドステージ大学」

編集責任：上田恵介先生 編集長：志鳥勝久

発行日：2015年9月25日

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1



## 眼前にひろがる楽しみの世界を共有したい

立教大学文学部教授  
栗田 和明



現今の多数の知見に接することは、驚きと楽しみであり、自身の人生観も変えることが出来るだろう。RSSCの皆さまともこの楽しみを共有したい。

身近な話題からひろってみよう。30年前に『宇宙からの帰還』（立花隆）を読んだ。当時の宇宙飛行士は、体力と理科的素養に優れた優秀なパイロットであつたり、電子工学の専門家であつたりして、いわゆる人文科学とか社会運動とは縁遠い人々であつた。彼らは宇宙飛行士として功績をあげたあとは、士官学校の校長や科学博物館の館長になったりするのが予想されるキャリアであつた。しかし、宇宙から地球を眺めると人生観が変わるようだ。多くの者が帰還後、宣教師や政治家などになっていることが同書で紹介されていた。宇宙と生命の謎に惑わされている私としては、ぜひ私も宇宙から地球をながめて人生観をひらきたいと期していたが、30年もたってしまった。

未来を舞台にしたSF作品で設定されていた年が、いつの間にか現在になっていることに気づく。人工頭脳HALが出てくる『2010年宇宙の旅』、2019年の東京でアンドロイドが活動する『ブレードランナー』（『アンドロイドは電気羊の夢を見るか』）、やはり2019年以降の東京が舞台の『AKIRA』、2035年のロボット社会を描いた『アイ、

ロボット』（『われはロボット』）などだ。作品の成立時には読者としては判断できなかったことが、現時点では自ら見渡せる事象になっている。

現在では、ハッブル望遠鏡など宇宙空間に浮かんでいる観測機が複数あり、私たちは多数の情報を手にしている。また百数十億年の宇宙の歴史の一部もコンピューターで再現実験できる。『コズミックフロント』『コズミックフロントNEXT』というTV番組では、CG表現で視聴者に示している。これらの成果のほとんどは21世紀になってからのものである。CGで示される銀河の成立、恒星の発生と消滅、無数の惑星での環境を、釈迦、イエス、ムハンマドとならんで視聴したら、彼らはどう反応するだろうか。彼らと会話しつつ、あるいはそれは不遜なので、教えを請いつつ、宇宙と生命について語るさまを夢想する。現代の知見は、彼らの世界観に大幅変更を迫るか、補強の材料となるか、あるいは迷妄だと一蹴されるものになるか思いめぐらしている。彼らの生きた時代での情報は限定的で、世界観を築く上でそれが利点でもあり、限界でもあった。

私たちはあらたな多数の知見を得て、先哲やSF作品が描いた世界を見渡して点検することもできる。これは、宇宙飛行士が自分の目で地球と宇宙をみた歓びと通じ、彼らの人生観の変化にもつながろう。私の場合は、多数の知見に接しても人生観の深化は僅少でしかない。しかし、深化は可能であろうし、眼下にさまざまな知見があることを知るだけで無上に歓喜するのである。皆さまも、RSSC内外でその一端を見つけてほしい。

（立教セカンドステージ大学運営委員）



# 2015年度入学式

— 学び直しと新たな出会い —

4月4日（土）立教  
セカンドステージ大学  
（RSSC）本科8期

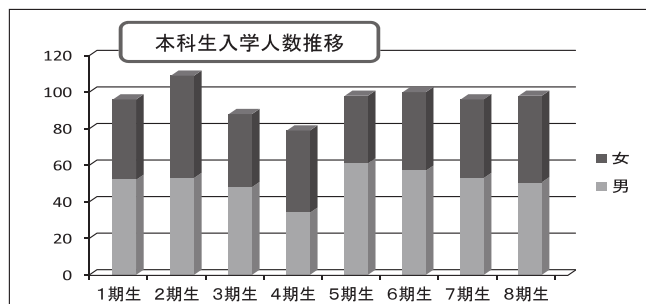
生98名、専攻科7期生56名の入学式が、池袋キャンパスの立教学院諸聖徒礼拝堂（チャペル）で行われました。

午前10時半、美しいチャペルに響き渡る荘厳なパイプオルガンの音色の中、式典が始まりました。吉岡知哉学長（立教大学総長）の訓辞に、これから始まる大学生活や新しい友との出会い等、希望や期待に胸を膨らませ、またこの歳で入学式が経験できる幸せに感謝しました。

式典にはご家族の姿も見られ、暖かな雰囲気の中に無事終了しました。



## 本 科 生 の 横 顔



6月に実施したアンケートは、在籍者98名のうち95名に配付。全員の方から回答をいただきました。  
ご協力、ありがとうございました。

## ◀ 本科生と専攻科生を比べてみました ▶

### ・ 在籍者数と平均年齢

|      | 本科生 | 専攻科生 |
|------|-----|------|
| 在籍者数 | 98名 | 56名  |
| 男性   | 50名 | 34名  |
| 女性   | 48名 | 22名  |
| 平均年齢 | 62歳 | 65歳  |
| 男性   | 62歳 | 65歳  |
| 女性   | 61歳 | 64歳  |

### ・ 受講科目数—RSSC科目

| 科目数 | 本科生 | 専攻科生 |
|-----|-----|------|
| 3   | —   | 2名   |
| 5   | 2名  | 1名   |
| 6   | 8名  | 12名  |
| 7   | 18名 | 14名  |
| 8   | 34名 | 17名  |
| 9   | 20名 | 7名   |
| 10  | 16名 | 3名   |

### ・ 受講科目数—全カリ科目

| 科目数 | 本科生 | 専攻科生 |
|-----|-----|------|
| 1   | 31名 | 21名  |
| 2   | 14名 | 22名  |

### ・ 受講科目数—RSSC科目+全カリ科目

| 科目数 | 本科生 | 専攻科生 |
|-----|-----|------|
| 4   | —   | 2名   |
| 5   | 2名  | —    |
| 6   | 2名  | 3名   |
| 7   | 15名 | 7名   |
| 8   | 20名 | 17名  |
| 9   | 22名 | 6名   |
| 10  | 37名 | 21名  |

## 〈浮かび上がった8期生の横顔は〉



62.2歳

平均 61.8歳

61.4歳

いちばん多い…

- ・受講科目数：10科目
- ・年齢分布：60～64歳
- ・居住地：東京
- ・通学日数：4日
- ・通学時間：30分～1時間
- ・修了後の進路：未定



### ●RSSC科目 受講人数トップ科目

- ・「だまし」と「ウソ」の心理学：香山リカ先生
- ・現代メディア・ジャーナリズムと法：服部孝章先生

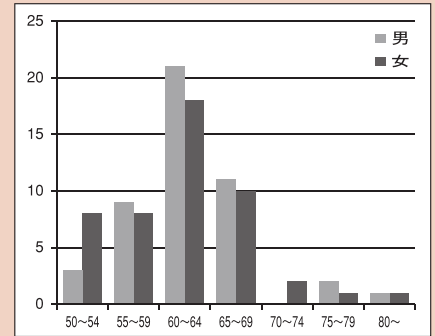
### ●全カリ科目 履修申請トップ科目

- ・サブカルチャー論：小倉敏彦先生
- ・政治とマスコミ：逢坂巖先生

NO1は

年齢：90歳  
幅広い：50～90歳  
年齢層  
遠方居住地：青森

### ・年齢分布人数



### ・居住地

|                | 全体  | 男性  | 女性  |
|----------------|-----|-----|-----|
| 東京             | 51名 | 20名 | 31名 |
| 埼玉             | 21名 | 14名 | 7名  |
| 神奈川            | 13名 | 6名  | 7名  |
| 千葉             | 5名  | 2名  | 3名  |
| 茨城・長野・栃木・福島・青森 | 5名  | 5名  | —   |

### ・通学日数

|    | 全体  | 男性  | 女性  |
|----|-----|-----|-----|
| 1日 | 1名  | 1名  | —   |
| 2日 | 4名  | 2名  | 2名  |
| 3日 | 27名 | 14名 | 13名 |
| 4日 | 43名 | 20名 | 23名 |
| 5日 | 19名 | 9名  | 10名 |
| 6日 | 1名  | 1名  | —   |

### ・通学時間

|         | 全体  | 男性  | 女性  |
|---------|-----|-----|-----|
| 30分以下   | 10名 | 3名  | 7名  |
| 30分～1時間 | 42名 | 18名 | 24名 |
| 1～1.5時間 | 28名 | 16名 | 12名 |
| 1.5～2時間 | 12名 | 7名  | 5名  |
| 2時間以上   | 3名  | 3名  | —   |

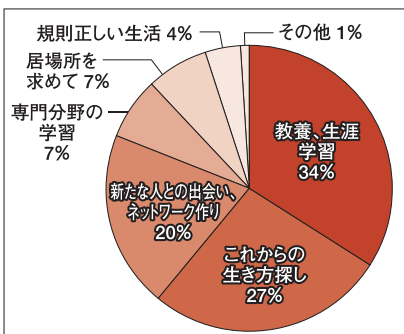
### ・修了後の進路

|      | 全体  | 男性  | 女性  |
|------|-----|-----|-----|
| 専攻科  | 24名 | 10名 | 14名 |
| 就業   | 7名  | 4名  | 3名  |
| 社会活動 | 5名  | —   | 5名  |
| 大学院  | 2名  | 2名  | —   |
| 未定   | 57名 | 31名 | 26名 |

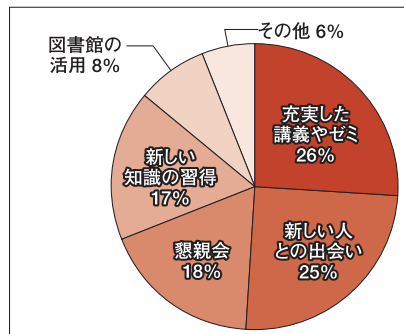
## 複数回答

学生生活について聞きました。  
(自由記述)

### ・入学の動機



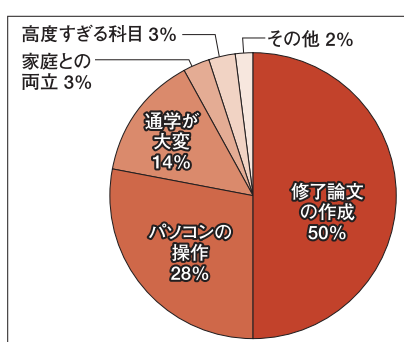
### ・よかったこと「トップ5」



### ・RSSCを知ったのは？

|         |     |
|---------|-----|
| 新聞記事    | 53件 |
| インターネット | 34件 |
| 知人からの紹介 | 10件 |
| テレビ     | 4件  |
| その他     | 2件  |

### ・苦労していること「トップ5」



### ・現在行っている地域活動は？

|        |     |
|--------|-----|
| ボランティア | 17件 |
| 自治会役員  | 7件  |
| NPO    | 7件  |
| 管理組合役員 | 2件  |
| その他    | 6件  |

### 「その他」の感想

- ・通学に時間がかかる
- ・学割があれば…
- ・オムニバスに工夫がほしい
- ・一部の授業が想像していた内容と違った



RSSCでは、大きな特徴の一つであるゼミナールにすべての受講生が所属し、担当教員のサポートのもと、それぞれ独自の方法で活発に運営されています。

# 本科ゼミ

## 上田(恵)ゼミ

### ◇漕ぎ出せ！水夫たち◇

おそらく、セカンドステージ大学に入学しなかったら、この先出会う機会はなかったと思う12名。それほど個性豊かなメンバーが揃いました。これこそセカンドステージに相応しいスタートでしょう。

最年少50歳から77歳まで、幅広い年齢層ならではの人生経験は、それぞれの発言に滲み出ています。若い頃には味わえなかった収穫です。また、8ゼミ中、唯一の女性ゼミ長を選出していることからわかるように、若干女性が積極的(?)かもしれません。それを束ねる上田先生はといえば、あくまで温厚。笑顔を絶やさぬ風貌で私たちを受け止めてくれます。

新しい船を動かそうとしている私たちは、上田キャプテンのもと、どう新しい海に漕ぎ出すのでしょうか。古い



水夫の知恵と勇氣と経験で、新しい海の怖さを乗り越え、「新大陸発見」となったらどんなに素晴らしいことでしょう。

## 野田ゼミ

### ◇年の差40才！の野田ゼミ◇

ゼミ生は50才から90才の12名(男性6名、女性6名)！個性的な人たちの集まりです。ゼミ担当の野田先生は、大学院異文化コミュニケーション研究科の「環境コミュニケーション領域」の専任教授で、文学と自然環境の関係が専門です。アニメ映画「もののけ姫」について人間と自然とのコミュニケーションについて、熱く少年のように語られる笑顔の素敵なお先生です。

我々ゼミ生は、野田先生の『「知りたい」「わからない」と思ったところから知的探求が始まります』の一言から、修論のテーマをいち早く決め、図書館講習会前に全員で学習室に集まり、資料の自主検索をするなどフットワーク軽く学んでいます。皆すぐに親しくなり、昼食会をしながらのお互いの選択科目授業の話や、趣味の



話をするなど、もちろんゼミ終了後は懇親会も開いています。

JOY OF  
LEARNING!  
の野田ゼミです。

## 小沢ゼミ

### ◇楽しく学んで元気に生きよう◇

小沢健市先生は観光経済学が専門です。観光の及ぼす多面性に光を当て、観光経済の学問的研究のオーソリティです。セカンドステージ大学の他にも新座キャンパスの学部授業や他大学の授業も受け持っており、そのバイタリティーたるやまさに我々のお手本です。各ゼミ生の修了論文のテーマ発表の際には、先生から適切なアドバイスや指摘があり、その豊富な知識、視野の広さに驚かされる日々の連続です。各ゼミ生の論文も順調に進むことでしょう。

週一回のゼミでは、それぞれが自由闊達に意見を述べ合い、毎回充実した時間を過ごしています。そして、ゼミ後の懇親会は、まるで学生時代に戻ったかのように和気あいあい、何の気兼ねも無く、お互いのバックグラウンドやよもやま話



に花が咲きます。そんなこんなで、今後もゼミ友として長い付き合いができるような、そんなあったかい雰囲気に満ち溢れた楽しいゼミです。

## 鈴木ゼミ

### ◇相互啓発による新たな出会い◇

鈴木ゼミは、50代前半から70代、豊かな経験を積んできた男性6名、女性6名が鈴木正男先生のもとに集まっています。

先生は、「人類年代学」を専門とし人類の起源や進化の研究をするとともに、「立教大学原子力研究所」の管理室長(元所長)として長く勤めています。

大学が原子力研究所を持っている歴史や経過、廃炉に向けた苦労話を聞かせていただきましたが、原子力＝発電のイメージが拭えないため原研を原発と言い間違えた質問に対し「原子力発電所ではなく原子力研究所です」と何度も訂正し原子力の使用方法の違いを説明いただきました。7月にはゼミ生が中心となり横須賀市にある研究所の見学会を実施しました。

ゼミでは、各自の体験やそれぞれが抱える問題の中から



論文のテーマを見つけ真剣に楽しく討議していますが、終了後は毎回安くて旨い居酒屋へゴー！授業の話題から離れゼミの第一目的である懇親を深めています。

# ナール紹介

ゼミの最大の目的は、各自が自由にテーマを決めて修了論文を書きあげることです。担当教員とゼミ生が活発に意見を交わし、親交を深めています。時にはゼミ以外の場でも…。

## 月本ゼミ

### ◇モットーは「全員、楽しく過ごす」◇

ゼミ生総勢11名（男性5名、女性6名）でご指導いただくのは聖書研究の碩学、月本先生です。ゼミの冒頭で示唆に富んだお話を拝聴し、即座に全員ファンになりました。

我々のゼミのモットーは「全員楽しく過ごす」。社会経験豊富で多彩な「目利き」が集いました。時には詩の朗読に酔いしれ、時には般若心経を唱え涅槃の境地に浸る、一方で伝統的な手作り菓子を舌鼓を打つ、等々。毎回新たな出会いと発見に満ち溢れる中、自ずとゼミの役割分担も整ってきました。

隔回で月本先生のご指導により厳選された本を講読しています（『代表的日本人』内村鑑三著）。勿論、先生の名解説付き。ゼミ運営を円滑に促進する効果と、意見交換を通してメンバー間の相互理解を促進する副次的効果もあり、全員楽しんでいます。ゼミ終了後、場所を変えて懇談。奇縁あって集う者同士、豊かなセカンドステージの実現に向けて切磋琢磨し奮闘中です。



## 成田ゼミ

### ◇奇跡の出会いを大切に◇

成田ゼミには学びの情熱溢れる12名の仲間が集いました。指導教員はメディア研究が専門の成田康昭先生、温厚なお人柄と適切なアドバイスでメンバー全員が信頼を寄せています。メンバーも企業で様々な経験を経た方々、地域活動に携わって活躍されている方々など多士済々で個性豊かです。取り組む修了論文のテーマも将来の希望や好奇心がぎゅぎゅ詰まったユニークなものばかりで質疑応答にも熱が入ります。様々な人生を経てきたメンバーの意見には「重み」と「味」があり、聞き手も多いに刺激を受けています。苦労もありますが全員、秋学期から修了論文を「自分の宝物」に仕上げていこうと意気込んでいるところです。

RSSCを志さなかったら、おそらく出会うことのなかった仲間たち、奇跡の出会いを大切に助け合い励みあって全員でゴールを目指します。



## 上田(信)ゼミ

### ◇We are aggressive to our second stage◇

飄々として、浮世離れしているような風情を漂わせていらっしゃる、上田先生のゼミ。最初の授業でこれまでの人生でターニングポイントになった出来事を発表してほしいとの先生の問いに、それぞれが素直な想いで応じ、ゼミ仲間の意識が団結した雰囲気がかもし出されたのは上田先生のお人柄によるものです。

懇親会でも、和気あいあいと語り合うひとときを過ごすことができ、より一層仲間の結びつきが強まった貴重な時間です。これまでに一番感激した本について発表し、この発表が修了時の論文につながるかも知れません。セカンドステージで学びながら、論文の題を見つけてほしいとの上田先生の教えを大切にしています。



## 栗田ゼミ

### ◇一週間で、一番濃密な時間◇

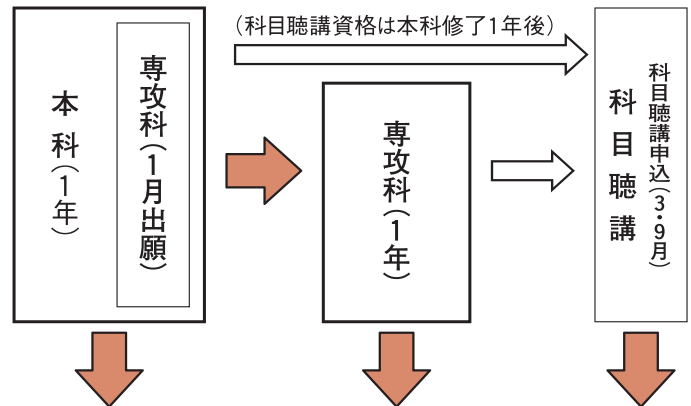
栗田ゼミは総勢13名（男性7名、女性6名。その内、入学後ワードの基本をマスターした人3名）。栗田先生のご専門は「文化人類学」。タンザニアの山村での長期定点観測。「去年、ついに電気が村の一部に入った」所だそうです。最近は東南アジアの街に出没し、アジアにビジネスでやって来るアフリカ人の動向も研究対象に。毎週、金曜日のゼミは一週間で一番濃密な時間が流れる場所です。ゼミ長以下、多様な人生経験を重ねたメンバーが結集し、意見が飛び交います。順番で各自の修了論文の構想を発表中。「その分野の本なら、私持ってる」、「それだったら誰かを調べたら」等のサポート発言が次々と。洋酒メーカーのCMで「恋は遠い日の花火ではない」というのがありました。恋の字を青春に置き換えた世界を、ゼミ生は楽しんでいます。





## 「学び直し」と「再チャレンジ」のみちすじ

学び直しの仕組みは本科での学び。更に学びたい人には、専攻科が用意されています。特定の科目を学ぶには本科修了の1年後に科目聴講ができます。また、新たなるネットワークを形成して多様な社会参加の担い手として活躍する『社会貢献活動サポートセンター』と受講生も参加できる『同窓会』があります。関連が分かり易いように図にしてみました。



活動期限は無制限（在学中・修了後）

### 社会貢献活動サポートセンター

受講生・修了生の社会との交流や社会貢献のグループ活動を支援するRSSCの組織

登録研究会

10研究会（2015年8月現在）

### 同窓会

\*秋学期に入会案内\*

同窓会会員ならびに受講生が相互の交流を通じ、社会とかわり合い、生涯の学びや社会貢献に役立つ活動の場と同窓生の親睦の場を提供することにより、大学の発展に寄与する組織

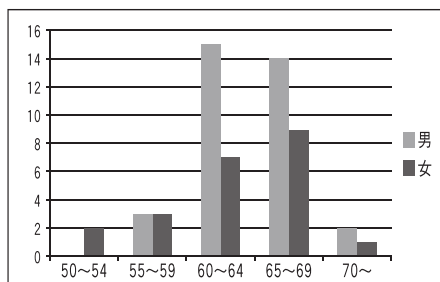
|       |     |                  |
|-------|-----|------------------|
| 期生別活動 | 期生会 | 1期～7期（2015年8月現在） |
| 全体活動  | 研究会 | 4団体（2015年8月現在）   |
|       | 同好会 | 6団体（2015年8月現在）   |

## 専攻科生に聞きました

（回収数：男性23名、女性14名、計37名、回収率66%）

RSSCでは本科修了後に専攻科が1年用意され、毎年本科修了生の約半数が進学しています。今回はどんな目的でいつ頃進学を決めたのか等、専攻科生へのアンケートを6月に実施しました。

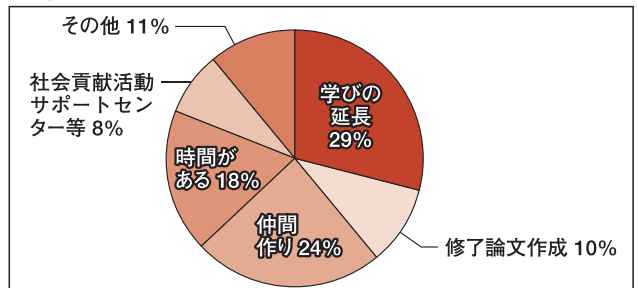
### ・年齢分布（全体56名、男性34名、女性22名）



### ・進学を決めた時期

|         |     |
|---------|-----|
| 本科入学前   | 2名  |
| 春学期     | 2名  |
| 夏休み     | 2名  |
| 秋学期     | 16名 |
| 専攻科出願直前 | 15名 |

### ・専攻科へ進んだ理由



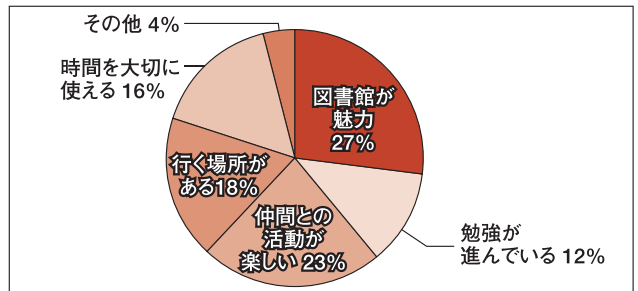
専攻科生は約8割が60代、専攻科へ進もうと決めたのはほとんど秋学期以降です。進学したキーワードは学びと仲間と言えそうです。約2割の人が何らかの仕事もしています。

右の図表以外の自由意見では、「授業は興味あることにチャレンジでき自分が意欲を持てば楽しい」「やる気が大事」「ゼミでも専攻科ではより深化できている」。反面、「若干マンネリ」「本科と違ったカリキュラムもあるとよい」「ゼミのあり方は検討の余地あり」等の意見もありました。

図書館の人気は高く、勉学の環境としては恵まれ、授業以外にも研究会や同窓会での活動範囲も広がっています。

家族の反応では、「バランスを取るには努力がいる」「家でゴロゴロしているより良い」との男性意見、「家族は冷静に見ている」「容認している」との女性意見があり、男女の相違がみられました。

### ・専攻科へ進んでみての感想



### ・専攻科修了後の進路（名）

|          | 男 | 女 | 計  |          | 男 | 女 | 計  |
|----------|---|---|----|----------|---|---|----|
| 地域活動     | 6 | 5 | 11 | 生涯学習等    | 1 | 2 | 3  |
| サポートセンター | 1 | 2 | 3  | 大学院、大学学部 | 2 | — | 2  |
| 同窓会活動    | 2 | 1 | 3  | その他、未定   | 9 | 3 | 12 |
| 就業       | 2 | 1 | 3  |          |   |   |    |

## 社会貢献活動サポートセンター10団体

- ①アジアの貧困とNPO/NGO支援研究会 ②かがやきライフ研究会 ③ウクレレ合唱団「鈴懸」  
④日本に住む外国人を考える会 ⑤生きがい創造研究会 ⑥アクティブシニア活動研究会  
⑦コミュニティ活動研究会 ⑧プラチナ社会創造研究会 ⑨経済・社会問題研究会 ⑩キリマンジェロの会

## 【同窓会】 研究会4団体/同好会6団体

今回は6団体を紹介します。詳細は同窓会ホームページを参照ください。

RSSC同窓会

検索

### 異文化研究会



一期から七期迄の  
会員を擁する会

2010年「海外異文化情報研究会」として発足しました。2011年に「異文化研究会」と改称し、継続活動中。現在国内外で活躍している異文化事情の講師をお招きし月に1度（第4木曜日）講演会を開催しています。2015年度4月「フィリピン山岳少数民族への教育支援活動」、5月「国内外の脱化石燃料の動き」、6月「世界の経済状況」、7月「安保法制とジャーナリズム」と著名人を講師にお招きしています。会員は1期生から7期生まで約100名に及んでいます。皆様の大勢のご参加をお待ちしています。

### ウィメンズ・クラブ



女性の生き方を  
考え今を生きる

新しい考え方で社会を切り拓いてきた女性達の生き方に学び、女性を取り巻く社会的問題を多様な視点から捉え社会に還元する事を目的としています。毎月人物（平塚らいてう、与謝野晶子、樋口一葉、中村黒光、新島八重、ベアテ・シロタ・ゴードン等）やテーマを決めて勉強会や講演会、見学会、映画鑑賞、バザー、他団体との交流、震災遺児支援などを実施しています。韓国留学生やドイツ人女性、RSSC同窓生も含め、女性問題、政治、教育、福祉、文学、芸術、暮らし、健康など多ジャンルに及び毎回話は尽きません。2010年設立 会員数15名+α（男性が加わる事も）。

### RSSC読書会



仲間と共有する  
「宝」の読書

月1冊の「課題本」を手がかりに出席者仲間と語り合う、一期生の読書会です。「楽しくやろう」をモットーに、会の規定もないまま参加・不参加も自由で、出席者は毎回15名前後です。毎月、異なる担当者が“自分の好み”で選ぶ課題本はジャンルを問わず多彩で、時や空間も超えてさまざまな世界に誘ってくれます。年々活字が読みにくくなる、読んだ傍から中身を忘れるという“逆境”にもめげず、目指すは100回開催（すでに61冊を読破）。100冊分の本の世界をみんなと語り合い、驚きや感動が共にできることに感謝あるのみです。

### RSSCワイン同好会



ワイン同好会を  
開催して6年

RSSCワイン同好会は2009年12月に、ワイン文化研究会として立ち上げ、翌年1月より会員募集を始め2010年4月の第1回開催時には75名の会員が集まりました。最初の2年間はフランスワイン、次の2年間はイタリアワインを勉強し、現在は「世界のワイン巡り」というテーマで世界各国の銘醸ワインをアサヒビール様のご協力でセレクト、リビエラのコース料理と共に頂き2ヶ月に1度開催しています。毎回豪華な内容は「日本で一番安いワイン会」として1期～7期生とそのお仲間にご好評を頂いていますので、是非お越し下さい。

### RSSC英会話クラブ



RSSCで唯一  
英会話を学べる会

RSSC在校生や修了生には海外勤務や外資系企業勤務経験者や英語に強い関心のある方が多くいます。特に日常英会話に対する愛着を持って引き続き学び語学力を維持向上したいとの希望者も多くいます。RSSCには語学に準じたプログラムがなく2013年11月18日に研究会・同好会としてスタートいたしました。現在メンバーは、25名で毎週月曜日（Primary）・木曜日（Advanced）午前中にネイティブ講師を招き楽しく学んでいます。東京オリンピック・パラリンピックを控え、英語の需要も高まっている折、共に学びましょう。

### RSSC茶の湯同好会



茶の湯同好会  
茶会開催を目指して

「気軽に抹茶を楽しみ、心休まるひと時を過ごせますように」と願って、RSSC茶の湯同好会は、昨年4月に発足しました。立教大学の近くにある目白庭園の茶室「赤鳥庵」を借りて毎月稽古をしています。時には美術館や博物館を訪ねて茶道具などの見学も行っています。会員数は現在、1期生から7期生まで総勢38名にのぼり、活気に満ちています。熱心な皆さんの稽古ぶりをみると、私たちの茶会を開く日が待ち遠しいこの頃です。RSSC同窓の方々、現役の方々お越しをお待ちしています。

## 「外国人留学生」「異文化コミュニケーション学部」と異世代共学

RSSCでは、2013年度より立教大学との「異世代共学」の実験的な試みとして、「外国人留学生の日本語授業」および「異文化コミュニケーション学部必修科目授業」へ参加し、教学連携を実施しています。

RSSC生にとっては、今までに積み重ねてきた知識や経験を、現役学生に還元することができる良い機会となっています。

### 留学生の日本語授業に参加



4月から7月まで計6回、経営学研究科「ビジネス日本語中級・上級」の留学生の授業に協力しました。RSSCの受講生は顧客役や上司役

に、留学生は会社員役に扮して、商談、社内会議、プレゼンテーションのビジネスシーンを体験しました。もちろん、すべて日本語で、それも難しいビジネス用語を用いてです。

最初はお互いの緊張が伝わりがちでない会話でしたが、回を重ねるうちに会話がスムーズに進むようになりました。留学生たちが短期間のうちに日本語を習得していることに驚かされ、また職場に戻ったような新鮮な気分を味わうことができ、楽しい体験でした。久しぶりに「一生懸命」という言葉を思い出しました。

#### 留学生の感想

ビジネス日本語クラスのゲストセッションで、私の日本語は大変改善されました。最初のセッションでは、日本語がなかなかわかりませんでしたが、毎回上手に話せるようになり、日本の会社で働く自信が少しずつ、ついてきました。

経営学研究科 国際経営学専攻  
ギルマ・ノエリック（フランス）

#### 担当の先生の感想

このクラスはRSSCの皆様をゲストとして迎えたセッションが大きな特徴となっており、学内外から注目を集めております。ゲストの方のビジネスに関する専門的な知識や幅広いご経験により、クラス活動が一層充実し、大変ありがたく思っております。

日本語教育センター

丸山 千歌 先生（センター長）

栗田 奈美 先生（中級担当）

金庭 久美子 先生（上級担当）

### 異文化コミュニケーション学部 にコメンテーター役として参加

7月8日と15日に、異文化コミュニケーション学部1年生の「基礎演習」授業に、RSSC生がコメンテーター役として参加協力しました。学生が自分たちで設定したテーマに関するプレゼンテーションに対し、社会人としての感想や意見、アドバイスをしました。

学生の感想は『普段の学生同士にはない緊張を感じた』『自分たちにはない視点が新鮮』『具体的な役に立つアドバイスと励ましがうれしかった』など。RSSC生の感想は『新鮮さを感じる』『前向きに努力している』『着眼点が面白い』など。双方にとって刺激になった異世代共学でした。

#### 担当の先生の感想

「基礎演習」は高校生が大学生になるために必要なアカデミックスキル、スチューデントスキルを身につけるための導入教育の基幹科目です。

人生経験の不足した学生たちは、ややもすると同世代内だけの議論に留まりがちです。RSSC生のみなさんの異世代からの視点を意識することで、学生たちはより客観的で説得的な思考の必要性に気づき、成長のきっかけになったように思います。

異文化コミュニケーション学部  
谷野 典之 先生



#### 編集後記

志鳥編集長のリーダーシップのもと、内容分担を決めてスタートした編集委員会。毎週開かれる委員会で内容もチームワークも密になっていきました。RSSC入学早々に大変でしたが、おもしろい経験でした。原稿を寄せていただいた皆様、アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

亀山哲男 古山久雄（副） 志鳥勝久（編集長） 坂田俊次  
藤澤和子 竹澤みほ子（副） 横山伊津子 杉山慶子

